

23. 樹脂加工布の汚染性に関する研究

実践女子大 白樫 昭子

1. リアクタント系樹脂，尿素系樹脂，メラミン系樹脂の三種類の樹脂に防水剤，柔軟剤，帯電防止剤を種々に配合し，綿布に樹脂加工を施し，その汚染性をみる。

2. ①，Am Dyestuff Repr., Vol. 47, p. 299 (1958)に記載された方法にならない，カーボン汚染浴を作製し，ラウンダオメーターにより汚染操作を行う。汚染度の測定はA. K. A 光電管比色計を利用して試片の表面反射率を測定して行う。②，インキ，醤油，泥水を一定量滴下し汚染程度をみる。

3. 以上の結果以下に述べるごとき結論を得た。

①，樹脂加工布は未加工布に比し汚れにくくなる。

②，三種樹脂ではメラミン系，リアクタント系，尿素系の順に防汚染効果を示す。

③，樹脂附着量と防汚染効果との関係は，メラミン系リアクタント系では影響がみられず，尿素系樹脂では，附着量大なるほど防汚染効果が減少する。

④，防水剤，柔軟剤，帯電防止剤を添加すると，一般に防汚染効果が向上する。特に防水剤は効果が大きい。